

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.57	02	市民の広場	10
今号の表紙	03	きらめけ! えびなっ子	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
新型コロナウイルス		相談	13
感染症関連情報	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 間時間 場場所 対対象 定定員
 内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
 条条件 主主催 Eメール ホームページ 問問合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝日を除く 休休み

 高齢者対象の教室など
  えびな健康マイレージ対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

自然豊かな海老名市が大好きです。
 今泉小学校 眞貝仁衣花さん(10歳)



写真

タイトル：彼岸花
 撮影場所：貫抜川放水路沿い
 撮影者：東柏ヶ谷在住 猪腰保子さん



編集雑記

今号のえび人の取材に同行しました。取材をする中で一番印象に残ったのは「人との出会いは宝」という言葉です。広報の取材や動画撮影、EBINAダンスなど、仕事を通してたくさんの方に会ってきました。これからも海老名市の魅力を多くの方に発信できるよう、「広がる輪」を大切にしたいと思います。(す)



EBIBITO vol.57



誰もが社会参加できる優しいまちを願い

義父との意思疎通に生かそうと講習会に参加したことが、斉藤さんの要約筆記者としての活動の始まりでした。「聞こえない手話」と思いますが、手話を使えない人も多くいます。支援が必要な人に手を差し伸べたい」と話します。他にも福祉教室を行うなど、文字を使った支援への理解を広めることにも精力的に取り組んでいます。「障がいのある方ももっと社会参加したい」という気持ちに込めたい。人と人がつながって、誰にでも優しいまちになることを思い描いて活動しています」と、目を輝かせます。

多くの活動の中で一貫している斉藤さんの思いは、「出会いは宝」。「今日この人とこんな話をしたなって思い出すのは楽しい。同じように人の中にも自分がいるって、一人じゃないんだって。こういう関係は、日々の中ですべて大切なことですよ」と。これからも軽やかに気負いなく、地域の人と心を結ぶ歩みが続けます。



市民サークルの仲間との活動も要約筆記者を広めるため



女性防火推進員の活動で要約筆記者が役立つことも

今月のえび人

さいとうひろこ
 斉藤宏子さん
 (国分南在住・70歳)

音声で文字で伝える要約筆記者として活動。民生委員や女性防火推進員、フレイルサポーター、健康えびな普及員などの活動にも尽力。趣味の裁縫でリフレッシュ。